

管理運営評価シート(令和6年度)

施設名称	さんぼく森のなかよし学童保育所	評価対象年度	令和 6 年度
指定管理者名	特定非営利活動法人おたすけさんぼく	所管課	山北支所地域振興 課
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)	評価者(課長)	大滝 きくみ

1 令和6年度の実績

(1)事業実績

利用実績	①学童保育所 年度末在籍児童 51名 延べ登所児童数 9, 099名 ②子育て支援センター 延べ利用者数 464名 (大人228名 子ども236名)
サービス向上の取組	おたより・ホームページ・マチコミ等を通じて学童保育所・子育て支援センターの活動の様子を知らせた。利用者のニーズを把握し今後の運営に活かすため、アンケート調査を実施した。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (R4年度)	前年度 (R5年度)	当該年度 (R6年度)	合計	備考		
収入	指定管理料	21,815	21,563	26,664	70,042	基本協定額:	131,469	千円
	利用料金	1,908	2,078	2,321	6,307			
	事業収入	1	1	1	3			
	自主事業収入	752	929	995	2,676			
	その他	1,056			1,056			
	収入合計 ①	25,532	24,571	29,981	80,084			
支出	人件費	19,847	19,504	23,073	62,424			
	福利厚生費	646	607	616	1,869			
	事務費	914	1,173	1,231	3,318			
	管理費	2,851	2,446	3,258	8,555			
	水道光熱費	1,176	1,080	1,151	3,407			
	修繕料	473	256	478	1,207			
	使用料・リース料	234	232	220	686			
	手数料・保険料	180	226	361	767			
	委託料	788	652	1,048	2,488			
	事業費	26	23	22	71			
	自主事業経費	752	929	995	2,676			
	その他				0			
支出合計 ②		25,036	24,682	29,195	78,913			
収支差額(①-②)		496	▲ 111	786	1,171			

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考(所管評価) (◎、△、×のときは評価内容、その他 特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	◎	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	◎	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	◎	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	◎	◎	前年度に比べ、避難訓練を充実させた。また、熊出没時における学童利用者の下校時の安全確保体制を前年度と同じく確保した。
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	◎	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	◎	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある - :該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題	
	・施設の建設から20年近く経過し、補修の必要な箇所が多い。床暖房・給湯器のボイラーもいつ不具合が起きるのかわからない状態。給湯器のボイラーは2台のうち1台が異常のため1台を稼働させて使用しているが、修繕は地元の業者では対応できない。 ・講堂にはエアコンの設置がなく、夏休み中等熱中症が危惧される。 ・加配の支援員を厚く配置させてもらっているが、長期休業中は開所時間が長いことや人手不足なのもあり人員の確保が難しい。 ・子育て支援センターの利用者減が著しいが、急速に少子化の進む山北地区で、地理的な要因もあり利用者増につなげるのは難しい。
(2) 課題解決に向けた取組	
	・初めての試みとして、夏休み期間のアルバイトを大学を通じて募集した。かかわってもらえる期間が短かった事、募集するに当たっての連絡調整、宿泊場所の準備、と受入れ側としての負担は大きかった。しかし、保育を学んでいる学生達と子ども達・支援員の皆さんには良い機会だったのではないかと考える。令和7年度については検討中。
(3) その他	
	①利用者からの主な意見や苦情、対応策
	②その他

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価	
	当会役職員協力のもと事業に取り組み、5期1年目となる指定管理の期間を無事終えることができた。 子育て支援センターは毎年利用者数が減少しており、取り組みに苦慮している。半面、学童保育所の利用児童数は徐々に増えており、家庭や地域において学童保育の果たす役割が大きくなっていると感じる。 支援員の資質の向上を図り、いろいろな団体と協力・連携をしながら日々活動を行った。 保護者に寄り添いながら、子ども達の目線に立った居場所や放課後の過ごし方を考え活動できたのではないかと考える。
(2) 施設所管課の評価	
	・利用児童の安全保育と健全育成を第一に考え、地域との交流や自然・文化体験を取り入れた様々な活動を積極的に取り組んでおり、高く評価できる。 ・R6年度は、火災避難訓練に加え、土砂災害避難訓練、不審者避難訓練、防犯講習など、緊急時に迅速に行動できるよう各種訓練や講習を実施したことが評価できる。 ・日々の保育や活動、事業に工夫を凝らし、利用児童に充実した安心感のある保育を提供することができ、また、子育て支援センター事業も同様に工夫を凝らし、利用者のニーズに応えた。
(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)	
	これまでどおり様々な不測事態を想定し、柔軟かつ適切に対応できるよう、万全な管理運営体制を維持するように努めていただきたい。 また、旧保育園施設のため、屋内の部屋数が多く園庭も広いので、事故がないよう十分注意してもらいたい。 子育て支援センターは利用者減が著しい。施設をとりまく利用対象者の状況、ニーズに沿った活動が提供できるよう努めていただきたい。